

弊社はこの様に ISO 関係を含め、海外の優良企業と取り組んでおります。
下記の業界紙ニュースは、この2社が環境を配慮した製造設備で、家具用
合成皮革を製造している記事です。

合成皮革速報誌

2008年(平成20年) 7月15日(火曜日) 第45巻第11号通巻第1511号

ショーコー(株)、タイと中国から輸入 “環境対応生産システム”の家具用合成皮革

ショーコー(株)≪本社東京都台東区花川戸、資本金1億円、社長下山宏一氏≫は、二酸化炭素(CO₂)排出量を大幅に削減した“環境対応生産システム”によるタイのタイウレタンプラスチック社、中国の浙江禾欣實業集團の「家具用合成皮革」の輸入販売に乗り出す。

両社の家具用合成皮革にはポリカーボネート系ポリウレタン樹脂で表面仕上げした乾式タイプと乾式・湿式併用タイプがあり、有機溶剤は主にDMFを使用している。湿式の回収装置は国内外の多くの企業に設置されているが、『乾式の溶剤回収装置を導入している企業は世界的にも少ない。タイウレタンプラスチックは01年、浙江禾欣實業は新工場が完成した06年に設置(写真)しており、乾式から発生する溶剤を回収し再利用。排気ダクトからDMFなどの有機溶剤を放出せず、大気汚染を防いでいる』(下山社長)という。二酸化炭素排出による地球環境への負荷が叫ばれる中、『先を見据えた両社の取り組みは素晴らしい。環境に配慮した生産システムから生まれた素材の供給は合成皮革輸入に携わる私どもの使命』(同)として、家具用合成皮革の本格輸入販売に乗り出す。また、ショーコーの主力事業は97年から展開している人工皮革や合成皮革、塩ビレザー、織物、編物、不織布などへのパンチング加工事業。イワタ工場(静岡県磐田市福田字外野)にパンチング機3ライン・月産能力8万m、約100種類のオープンデザインを有し、建築材料や衣料、靴、靴、車両用合成皮革など幅広く展開している。なお、同社は今年22日付けで新事務所≪〒111-0033東京都台東区花川戸1-12-5、リュウグウ浅草ビル2階≫に移転する。電話・FAX番号は変更ない。

